

京三中最後の

## 「昭和21年入学組」です

―「山城高校併設中学校」を経験―

三中21年入学 青山 隆

京三中・山城高校と引き継がれた伝統と歴史が、百年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。私はこの栄誉ある学び舎で、戦後の学制改革に採まれながら僅か二年六ヶ月（三中に二年間、山城高校併設中学校に六ヶ月）しか在籍出来ませんでした。青春を満喫し、多くのことを学んだ三中時代を六〇年を経た今でも懐かしく思い出されます。我々京三中最後の入学組三〇〇名が辿った道を、私の事例をもとに紹介します。

◇昭和二十一年四月「京都府立京都第三中学校」入学

―二年生になっても、下級生は入学して来なかった（この年から新制中学が制定）。

◇昭和二十三年四月 学制改革により、三中は「京都府立山城

「高等学校」に――我々三年生は、「山城高等学校併設中学校」として、同じ学舎で在籍――「併設中学校」といえども、山城高校と同じ校章を付けて登校

◇昭和二十三年一〇月 男女共学・地域制再編により「居住地域の高校の併設中学校」へ――私は右京区嵯峨に在住していたため、「西京高等学校 併設中学校」へ移動

こうして戦後の学制改革の変動の中、一緒に学んだ友達と離れ離れになる辛さ。悲しさを味わいながら、二年六ヶ月お世話になった三中・山城高校の学舎を離れました。この私にとって三中時代の一番の思い出は、当時三中には無かったサッカー部を竹内京一先生のご指導のもと、最下級生二十一年組だけで発足したことです。名門山城高校のサッカー部の「ゼロ期生？」であつたことを誇りに思っています。わずか二年半の在籍で、忘れ去られそうな存在ですが、同窓会名簿にもその存在の証として名前・所属クラブまで掲載して頂いていることを、面映い気持ちの一方で、諸先輩並びに同窓会をお世話頂いている方々に心から感謝申し上げます。